

2学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

2学年通信 109号 通算 173号

2017. 3. 9 (木) 発行

冬・物語Ⅷ

yokoyama

今日は1時間で上がり！いいですね。明日は高校入試です。我々にとっては「1年間で最も緊張する日」でもあるのです。2年生諸君は「2年前のこの日のこと」を憶えていますか。当日はどんな気持ちでしたか。また、前日はどのように過ごしましたか。私達の記憶って本当にいい加減で？大事なこと、感動したこと、悲しかったことなど、時が経つとすっかり忘れてしまいます。でも、人は辛いことや苦しい過去は忘れてしまいたいものですから、人類が育んできた「生きるための遺伝子」のなせる技なのでしょうね。でも、折に触れ意識的に「振り返ること」も大切だと思います。イイ機会です。アナタの高校入試前日、当日そして合格発表と米興入学まで、自分は「どんな気持ちですごしたのか」「どのような決意があったか」、また家族や中学校の先生達から「どのような言葉を頂いたのか」などを思い起こしてみてもいいでしょうか。きっと、忘れかけていた何かに胸突き動かされることでしょう。



それは↑私達も同じです。初めて言葉を交わした日のその瞳を忘れないで♪ 日々過ごしたいものです。でも大事なこと、忘れたくないこと、忘れちゃいけないことは、心だけでなく「実際に書いて」部屋に飾っておくとか、手帳に記しておくとかイイですよ。私のように忘れっぽい人は尚更です？

今日までサボっていましたが、卒業式のことを書きます。卒業式は感動です。こんな私であるけれど、卒業式だけは2～100滴とその差はあれついで涙してしまいます。「SOTUGYU」とタイプしただけでグッ！ときてしまうので不思議です。もしかすると、私は「卒業に立ち会いたいため」に教員になったのかもしれない。



きっかけは違ったかもしれないけれど、少なくとも今の私はそうです。ちなみに「卒業式」という学校と「卒業証書授与式」と概ね2通りあるのだけれど米興は後者です。この漢文を書き下し文にすると「卒業証書を授与する式」（誰でもわかるZ!）なので目的がはっきりしてシンプルでイイナ！と私は思います。卒業式練習も当日ですからね。かつ米興は講堂があるので、式場の準備も少ないのに格調高い式ができるという素晴らしさです。前号「ずっといると気づかないけれど…」の米興の良さの1つだと思っております。また、これも日々の風景なので気に留めなくて流してしまうのだけれど「応援団」の存在は大きいと思う。卒業式にはエントランスで裸足応援。旧校舎の頃から連綿と受け継がれている素晴らしい伝統。T世君を団長に、多くの2年生男女が団を盛り上げてくれていることに感謝です。



と、普通は左で終わるのだけれど、理数科からの紀行文が届かないので続けているワケなのです。WCが送るって言うから？ まあ、気を取り直して書こうと思ったら便りが届きました！39！！

理数科「台湾紀行」エントリーNo.3 G.M さんの後編

続きの原稿です。遅くなってしまい申し訳ありません。□♀□

3日目は、清華大學の方々との交流でした。



内容は清華大學で行なっている研究とその研究室の説明、校内の見学でした。説明はもちろんおーるいんぐりっしゅです。何いってるかさっぱりわかりませんでした。あれくらい英語ができれば楽しいんだろうなあ(遠い目)。頑張ります。



説明が終わると校内を見学しました。案内を担当してくれた大学生に1人セカオワ深瀬似のイケメンがいました。某さーちーがかっこいいかっこいいと発狂していたのでツーショット写真(という名の隠し撮り)をしてあげました。発狂してました。載せておきます。さて、校内を歩いていると、某ゆり~ながいっていたようにたくさんの動物がいました。一番びっくりしたのはリスです。テレビとかでしか見たことがなかったので写真を撮りまくったのですが、あとで見返してみると暗くて何が写っているのか分かりませんでした。悲しい。それにしても大学は本当に広い…校内をバスで移動するくらいには広いです。ここで印象に残っているのはタピオカ事件です。内容は割愛します。正直言うとここからは校内を歩いて写真を撮って…くらいしかしてないので割愛します。すごく青春しました感の写真がたくさん撮れました。載せておきます。



次に ITORI という企業の見学に向かいました。誰かも言っていた気がしますが、ニトリじゃないです。1番印象に残っているのは説明してくれた男の人が同じ中学校の後輩のお父さんに似ているなあということでした。分かる人には分かると思います。見たい人は後藤までお知らせください。



最終日はYりなさんと同じ内容です多分。うわあああああってなりました。てへっ(最後テキストじゃないかって？知りません)

楽しかったです台湾。とっても。あと芳賀先生可愛かったです。将来は台湾に住みたいなあと思います。稚拙なくせに長い文に付き合ってください誠にありがとうございました。



保護者のお父様よりメッセージを頂きました。 3度目の投稿ありがとうございます！

お世話になっております。3/7 発行号の横山先生の文章を読んで、ちょうど同じ頃、似たようなことを考える機会があったので、勢いで書いてみました。(シンクロ?) 入試準備等でお忙しい中だと思いますので、お手すきの時によろしくお願ひします。

YBC ラジオで、平日の午前中に「テレフォン人生相談」という番組を放送しています。財産分与などの法律系の相談から、人間関係のもつれなど、毎日様々な方からの相談に対して解決策を探るというものです。

たまたま仕事の用事で出かけたときに、時間が合ったので運転中に聞いた先日の相談は、ざっくり言うと、ガンが発覚して治る見込みのない夫に対しての、向き合い方を悩んでいるという奥様からの相談でした。

どう回答だったかはとても文章にまとめるのは難しいので、ここでは詳細は書けませんが、これまたざっくり言うと夫との向き合い方でもあり、夫と向き合う「自分自身との向き合い方」でもあるということです。

今日は相談の聞き手が心理学の先生と、心に関する著作のある方だったので、心理面からの解決アプローチが非常に心に染みるような回答でした。感動したということをお願いわけではありません。今日の聞き手2人がコンビの回は毎回興味深く、個人的には「当たり感」があるのですが、いつも気づかされることが多いのです。

「意識」しているか「無意識」か、そのどちらかの状態で私たちは行動したり、考えたりします。そして、実は「無意識」の影響のほうを大きく受けているのではないかとも思います。無意識とは、意識していない部分だからこそそう呼ばれるわけですが、その無意識の一端にパッと光が当てられ、「意識化」されることによって、「そうだよなあ」と心にストンとハマることはよくあることではないでしょうか。

それは音楽を聴いていてもそう。無意識下でなんとなく感じてたようなことを、上手いこと言い当てられたような歌詞に出会うことってありませんか? 曲を作るアーティストなどは、やはり意識の及んでいる範囲が大きく、聴く側に気づきの機会を与えているのではないかと思う訳です。

『いつまで付けてんだい? その自前の手錠をさ』『いつになりゃ気づくんだい? カギも自前だろ?』

(BUMP OF CHICKEN: ♪グロリアスレボリューション)

他の学校の高校生が遊んでいるのを見て、なんで自分たちはやりたいことを我慢してこんなに勉強しなきゃならないんだ? という「手錠」はとっくにみなさんも外しているだろうと思う。自分をしっかりマネジメントでき、今なぜ学ぶかの意味も意識できているはずだ。(と思いたい)

より「意識化」できることは、自分自身だけでなく、他の人に対しても向き合い方の幅が広がり、ひいては社会全体に対しても広い視野を持つことになるだろう。日々いろいろ見聞きする中から、そういう気づきを得られるようでありたいし、他の誰かに対しても、視界をパッと広げてあげるような「示唆」を与えられたら、なんかカッコいいと思うのです。

そう、そういうきっかけが、この学年通信にもたくさん散りばめられ、溢れていることを、みなさんはとっくに知っていると思う。あとはそれをどれだけ体現していけるかだ。(自分への戒めでもある) 横山先生の言葉のとおり、「アナタが変われば、世界が変わる」のです!

全統高2記述模試受験と解説授業のご案内

2017年3月10日(金) 受験会場: 山形大学工学部

2017年3月11日(土) 解説授業会場: 山形大学工学部

～1年後の国公立大学現役突破のために～ 主催: **河合塾**

あと1ヶ月で皆さんは受験学年の高3生となり、本格的な受験勉強に移行しなければならない時期となります。大学全入時代とはいえ、現在の厳しい大卒の就職状況や長引く経済不況から、全国の受験生の動きとしては難関大学および国立大志向がより鮮明になってきています。よりしっかりとした早期の準備が必要になります。

大学入試ではレベルの高い問題も出題されますが、どのような問題が出されても対応できる基礎学力が最も重要になってきます。端的に言えば、高2までの学習内容をいち早く固めることが「合格」につながるといっても過言ではありません。そのため、全国のライバルたちを見据え、早くから入試を意識した学習をすすめることがポイントになります。

そこで河合塾では、高校2年時までに履修した内容の中で、国公立大学を志望する受験生を対象とした「全統高2記述模試」を高校2年生の皆さんへご案内することとなりました。今回の模擬試験では、全国の公立進学校および国立大志望者が多数受験する母集団の中で2次試験を想定した問題にどのくらい自分に対応できるか、自分の位置はどのくらいかを確認できる絶好の機会となるはずです。

申し込み方法は、1月20日(金)までに 担任の先生に別紙申込書を提出してください。模試の受験料は後ほどコンビニでの払込票をお渡ししますので期日までにお支払いください。なお、解説授業の受講料の支払いは当日会場にてお支払い願ひします。

全統高2記述模試時間割 3月10日(金)実施

文 系		理 系	
入室	～8:45	入室	～8:45
英 語	9:00～10:40 (100分)	英 語	9:00～10:40 (100分)
数 学	10:50～12:30 (100分)	数 学	10:50～12:30 (100分)
受験届	12:30～12:50 (20分)	受験届	12:30～12:50 (20分)
昼 食	12:50～13:30 (40分)	昼 食	12:50～13:30 (40分)
国 語	13:30～15:10 (100分)	国 語	13:30～15:10 (100分)
地歴・公民1科目目	15:20～16:20 (60分)	理科1科目目	15:20～16:20 (60分)
地歴・公民2科目目	16:25～17:25 (60分)	理科2科目目	16:25～17:25 (60分)

受講料: 3,650円 (保険料込)

全統高2記述模試解説授業(英語・数学)時間割 3月11日(土)実施

教 科	時 間
入 室	～ 9:30
数 学	9:30 ～ 11:00 (90分)
英 語	11:15 ～ 12:45 (90分)

受講料: 1,000円